＜先週の説教から＞

『ヘブライ⑰―耳が鈍くなって　いませんか？』　武田真治牧師

箴言１：１０～１９,２８～３３ ヘブライ ５：１１～６：６

４章 14 節からいよいよ、このヘブライ人への手紙の中心テーマである《大祭司キリスト》についての説明が始まりました。そして、今日の箇所の直前には「神からメルキゼデクと同じように大祭司と呼ばれたのです」とあり、ここから旧約のメルキゼデクという人物についての解説が始まって行きそうな流れですが、実際にはその解説は６章 13 節からになります。その間に入れられている箇所が今日から読む部分です。即ち「このことについては、話すことがたくさんあるのですが、あなたがたの耳が鈍くなっているので」と。本格的な議論に入る前の“注意”という感じです。ただ、だからたいした内容はないのではなく、むしろ実は重要な事柄が含まれているのです。

まずなぜ“耳が鈍い”と言われているか、その理由は「実際、あなたがたは今ではもう教師となっているはずなのに、再びだれかに神の言葉の初歩をおしえてもらわねばならず」と、この手紙を受け取る教会員の多くが、洗礼を受けてからもう長く経っているのに信仰的な成長がないと。その結果、「固い食物、義の言葉を理解できません」と指摘されているのです。

「義の言葉」とは何でしょうか？　この「義」は“信仰による義”とか“神の義”などと同じで、イエス様の十字架によって私たちの罪が赦されて義とされる（＝良しとされる）ことを指します。「義についての言葉」と考えた方がよいでしょう。いわば、罪の贖いや主の十字架に関する教えのことです。それらがしかし「理解できていない」と非難されているのです。

この状況は、なにもこの時代だけではなくて、いつの時代でもそうではないかと私には思えます。というのは、私たちにとっても《罪の赦し》や《主の十字架の意味》は理解しにくいものだと思うからです。むしろ、当時の人たちにとってもそうであったのだということにどこか納得してしまいます。そして、今の時代はますますこの傾向が強くなっているように思えます。主の十字架とか、罪という言葉そのものさえ言われなくなっているからです。むしろ、耳触りの良い、口当たりのなめらかな言葉や聖句しか語られなくなっているのではと。

しかしヘブライ書は、そのような「固い食物（を摂ること）は、善悪を見分ける感覚を経験によって訓練された、一人前の大人」へとさせることに役立つと続けています。確かに人間は「幼子（おさなご）」の時は「乳（＝流動食）」しか摂れません。成長して「固い食物（＝固形物）」を食べられるようになります。“信仰”の場合の成長は「善悪を見分ける」ことができるようになることだと。世の中や他者の言いなりになって生きる状態はまだまだ“幼児”だということでしょう。考えさせられることは、私たちの信仰の目標はイエスマンやロボットのような人間を作ることではなく、むしろ、本当に自分にとって何が大切か、神様の目から見て何が正しいかを自分で「見分ける人」となっていくことだと教えられます。そのためには「固い食物」特に「義の言葉」を聞き、受け止めていくこと、特にそのような「経験」が必要なのだと。私たちにとっても《十字架の言葉》は固い食物でしょう。しかしイエス様の十字架に向かう苦難や厳しさや孤独、十字架上での苦悶は、私たちが日常の生活で出会う苦難や厳しさ等の「経験」を通して少しづつ主の十字架の意味を受け止められるようになって来るのです。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

【今週の集会】

◉聖書研究・祈祷会　Ⅰ．6月 22 日（水）20：00
　　Ⅱ．6月 23 日（木）10：30
聖　　書：　ハイデルベルク信仰問答、エゼキエル書
祈祷主題：　牧会委員会を覚えて
担 当 者：　（水）奈良　　（木）岡田
祈 る 人：　土門さん　　中澤さん

【教勢報告】

主日礼拝	男 23	女 57	計 80
祈祷会 Ⅰ.	男 6	女 3	計 9
祈祷会 Ⅱ.	男 4	女 9	計 13
日曜学校	幼稚科 6	小中科 11	計 9
ハンナの会	男 3	女 6	計 9

【次週礼拝】　６月　２６日（日）
聖　書：　詩　編　２３：１～６
　　ヨハネの黙示録　７：１３～１７
説　教：　「詩編㉓―主はまことの羊飼い」
　　武田 真治 牧師
讃美歌：　５０２(1)、３２(1)、４５９(1と2)、
　　９７(1と2)、２８

【次週当番表】
司式:羽倉長老　奏楽:中村　礼拝:金刺長老
献金：鈴木　鈴木　　受付：金刺　坂田
会堂準備：大野　勝村　黒澤　西尾
看板：中村　　週報：小草　　お花：飯島

【次週集会予定】礼拝前：・求道者会　・聖書輪読会
　　・赤熊広場草刈り
礼拝後：・礼拝/牧会/教育/社会/伝道 各委員会
　　・聖歌隊練習

６３－２５

週　報

2022 年度　教会標語

「礼拝に支えられ、共に生きよう！」

２０２２年　　６月　１９日

日本キリスト教団　**上尾合同教会**
牧　師　　武田　真治

〒362-0041　上尾市富士見２－３－33
TEL＆FAX　048－771－6549
http://www.ageo-church.org/